

第47回日本化粧品学会プログラム

メインテーマ：化粧品でつながる「人」と「科学」

2022年6月10日(金)：1日目

10:00～10:05 開会挨拶 会頭：五十嵐良明(国立衛研)
総合司会：前澤大介(癸巳化成)

10:05～10:35 会頭講演 座長：鈴木民夫(山形大)
化粧品の品質確保とレギュラトリーサイエンス
五十嵐良明(国立衛研)

10:35～11:25 一般研究演題(I) 有効性I 4題(発表8分, 質疑4分)
座長：藤堂浩明(城西大)
築瀬香織(クラシエ)

R01 ヒト表皮角化細胞における紫外線B波誘発性バリア機能低下モデルの確立および
ハーブエキスによる保護効果の検討

○市川 寛¹, 黒川憲伸¹, 阿瀬有紀¹, 吉尾悠花³, 南山幸子², 西坂裕介³
(¹同志社大, ²京都府大・生命環境, ³ネイチャーズウェイ)

R02 レパゲルマニウム配合化粧水による皮膚保湿能の改善効果

○正木光可¹, 武田知也¹, 麻生 久², 中村宜司¹
(¹浅井ゲルマニウム研究所, ²東北大院・農)

R03 リポソーム配合製剤のヒト皮膚における保湿機構の微視的解明

○永塚豊史, 山下美香, 黒木純子, 鈴木留佳, 畑 毅(コーセー)

R04 顔面の可動性に着目したフェイシャルマッサージ効果の要因に関する解剖学的・
画像診断学的考察

○奥田逸子^{1,2,3,4}, 山田 稔¹, 山田祥岳¹, 横山陽一¹, 秋田恵一³, 陣崎雅弘¹
(¹慶應大・放診, ²国際医療福祉大・放診セ, ³東京医歯大・解, ⁴加齢画像研 ONI)

11:25～12:15 一般研究演題(II) 有効性II 4題(発表8分, 質疑4分)
座長：鶴田大輔(大阪市立大院)
水谷友紀(コーセー)

R05 ローヤルゼリーの肌ストレス保護機能の解明と化粧品原料への応用

○坪川 涼¹, 前田祐伽¹, 伊藤隆志¹, 出川朋美¹, 藤倉千鶴¹, 浅間孝志¹, 大熊章郎²,
沼野香世子³, 森山麻里子⁴, 森山博由⁴, 奥村暢章¹, 八巻礼訓¹
(¹山田養蜂場本社, ²免疫分析研究セ, ³沼野クリニック, ⁴近畿大・薬総研・先端バイオ)

R06 残留応力を有する化粧塗膜を用いた鼻唇溝シワへの効果

○前多瑞希¹, 塚原和枝², 安 智子², 笠松慎也², 飯田将行¹, 花田洋子¹, 宮崎志洋¹,
諸隈由樹¹ (¹花王メイクアップ研, ²花王生物科研)

R07 マイクロプラスチックビーズをセルロース粉体に置き換えたファンデーションの化粧効果の評価

○鈴木高広, 浦郷愛望, 大賀千春菜, 原田真貴, 坂本 勝 (近畿大・生物理工)

R08 白びわ抽出物由来の機能性化粧品素材開発

—カフェ酸誘導体の光保護作用評価—

○桑原菜摘¹, 袴田雅俊², 浅沼俊倫², 山下里恵², 山田幸平¹, 佐藤秀行¹, 尾上誠良¹

(¹静岡大院・薬, ²静岡工技研)

12:15~13:45 昼休み (90分)

13:45~13:55 理事長挨拶 石河 晃 (東邦大)

13:55~14:45 一般研究演題 (Ⅲ) メラニン 4題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 船坂陽子 (日医大)
青木宏文 (資生堂)

R09 新規蛍光化合物 LysoKK2 による B16F10 細胞内メラノソーム分解の可視化

○川口馨加, 竹森 洋 (岐阜大・自然研)

R10 下唇の赤唇部におけるメラノサイトおよびメラニンの局在解析

○日下あゆみ¹, 飛石 恵¹, 安森春子², 高橋彩実², 川端慶吾¹, 高橋慶人¹

(¹花王生物科研, ²花王メイクアップ研)

R11 慢性的な紫外線曝露が顔面色素斑に及ぼす影響

—年間紫外線量の異なる2地域に居住する日本人女性の疫学調査—

○菊地久美子¹, 山下豊信¹, 永禮由布子², 原 祐輔¹, 柴田貴子¹

(¹資生堂みらい開発研, ²資生堂ブランド開発研)

R12 Amino acid Derivative Reactivity Assay (ADRA) と *in vitro* チロシナーゼ代謝系を組み合わせたチロシナーゼ依存的なタンパク質結合性評価法の開発

○森 将人, 山地史哉, 豊田明美 (ポーラ化成工業)

14:45~15:30 特別講演 I 座長: 高橋慶人 (花王)
精密医療の実現に向けた情報科学と生命医科学の新たな統合
桜田一洋 (慶應大)

15:30~15:45 休憩 (15分)

15:45~17:00 一般研究演題 (Ⅳ) 安全性 6題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 中田土起丈 (昭和大学藤が丘病院)
小幡誉子 (星薬大)

R13 香料アレルゲン5年間 (2017-2021) のパッチテスト結果

○鈴木加余子¹, 二村恭子¹, 松永佳世子^{1,2}, 矢上晶子¹

(¹藤田医科大・医・総合アレ, ²藤田医科大・医・アレル疾患対策医)

- R14 化粧品中ナノマテリアルの安全性評価：獲得免疫系を介した非晶質ナノシリカのハザード解析とその発現機序解明
 ○東阪和馬^{1,2}, 衛藤舜一¹, 小椋万生¹, 櫻井美由紀¹, 辻野博文^{1,3}, 芳賀優弥¹, 堤 康央^{1,4} (1 阪大院・薬, 2 阪大高等共創研, 3 阪大博物館, 4 阪大 MEI セ)
- R15 メイクアップ化粧品に含まれる微量元素不純物の実態調査：アイシャドウ
 ○久保田領志, 秋山卓美, 五十嵐良明 (国立衛研)
- R16 化粧品の次世代安全性評価
 ートランスクリプトームデータを加えた包括的リードアクロスの可能性ー
 ○久木友花¹, 跡部朋美², 小林英恵², 関根秀一², 水野忠快³, 楠原洋之³, 上月裕一²
 (1 資生堂 ブランド価値開発研, 2 資生堂 みらい開発研, 3 東京大院・薬)
- R17 化粧品に利用されるバニロイド類・フェニルプロパノイド類による TRPA1 活性化の種差
 ○森 葉子¹, 青木 明¹, 岡本誉士典¹, 磯部隆史², 大河原 晋², 埴岡伸光², 香川(田中)聡子², 神野透人¹ (1 名城大・薬, 2 横浜薬大)
- R18 機械学習アプローチを用いた *in silico* モデルによるヘアカラー原料の皮膚感作性強度予測
 ○安部賀央里¹, 成田和人², 小林 睦², 立花慈博², 村崎 亘¹, 鈴木政晴¹, 頭金正博¹, 足利太可雄³ (1 名市大院・薬, 2 食品薬品安全セ 秦野研究所, 3 国立衛研)

17:00~18:00 最近の国際情勢を見据えた化粧品の安全性保証を考える

座長：畑尾正人（粧工連）

1. EU 化粧品規制の現状と世界への影響：化粧品製品情報ファイル（PIF）
 加藤 勉（粧工連/資生堂）
2. 新しい安全性保証（NGRA, NAMs）にかかわる国際動向（EU, 米国, ICCR 等）
 坂口 斉（粧工連/花王）
3. パネルディスカッション
 林 亜紀子（厚生労働省）
 広瀬明彦（国立衛研）
 矢上晶子（藤田医科大）
 沼澤 聡（昭和大）
 加藤 勉（粧工連/資生堂）
 坂口 斉（粧工連/花王）

2022年6月11日(土):2日目

9:30~9:50 第10回優秀論文賞授賞式・受賞講演

9:50~10:55 一般研究演題(V) 表皮・角層 I 5題(発表8分, 質疑4分)
座長: 須賀 康(順天堂大)
木曾昭典(丸善製薬)

R19 皮膚の角層剥離に關与するステロイドサルファターゼ活性測定法の確立
○古屋翔太¹, 石井友香¹, 佐藤綾桂¹, 村岡 空¹, 永井信夫², 正木 仁³, 吉田雅紀¹
(¹東京工科大・応生, ²長浜バイオ大・アニマルバイオ, ³CIEL)

R20 主観的睡眠状態と肌状態との関連解析
○阿部裕子¹, 須摩 茜¹, 清水教男¹, 清水映理¹, 高木 豊^{1,2}, 樋口和彦¹
(¹花王, ²城西大・薬)

R21 気相下における角層プロテアーゼに及ぼす保湿剤の影響
○山本明日香¹, 辻野麻由², 平尾哲二^{1,2}
(¹武庫川女子大院・薬, ²武庫川女子大・薬)

R22 細胞老化を抑制する生体内環境を模倣した角化細胞用培養基板の作製
○干場隆志(東京都立産業技術研究セ)

R23 蛍光標識ε-poly-L-lysine (PLL) を用いた新たな角層染色法とその応用
○沼尻紗奈¹, 吉田萌生¹, 野本晃司², 占部博也², 佐藤淳一³, 山下裕司⁴, 平尾哲二^{1,4}
(¹武庫川女子大院・薬, ²ホームイオン研, ³JNC, ⁴千葉科大・薬)

10:55~12:00 一般研究演題(VI) 表皮・角層 II 5題(発表8分, 質疑4分)
座長: 徳留嘉寛(佐賀大)
植田光一(東洋ビューティ)

R24 皮膚角層細胞間脂質の脂質間相互作用の解析
○荒井梨絵¹, 古石誉之¹, 米持悦生¹, 石田賢哉², 小幡誉子¹
(¹星薬大院, ²高砂香料工業)

R25 M1 マクロファージが表皮細胞におよぼす影響
○真柴里歩¹, 勝山雄志², 西方敬人³, 岡野由利², 正木 仁²
(¹DRC, ²CIEL, ³甲南大・フロンティアサイエンス)

R26 角質細胞脂質エンベロープ(CLE)形成に対するTGM活性の測定法の確立
○佐藤由紀, 岡野由利, 正木 仁(CIEL)

R27 コルチゾールはNGF産生亢進を介して皮膚保湿機能を低下させる
○合田悠真, 本多達也(DRC)

R28 特異な細胞死である角化機序: 新たな表皮細胞死の解明
○阿部理一郎, 西口知輝(新潟大・医歯学総合研)

12:00~13:30 昼休み (90分)

13:30~14:15 特別講演 II 座長：五十嵐良明 (国立衛研)
化粧品による皮膚障害と原因究明研究
松永佳世子 (藤田医科大)

14:15~15:30 一般研究演題 (VII) 真皮・その他 6題 (発表8分, 質疑4分)
座長：山田秀和 (近畿大)
芹澤哲志 (ライオン)

R29 紫外線による血管内皮細胞の BMPR2 の減少は皮膚における毛細血管消失に関与する
○吉岡 寿¹, 村上祐子¹, 井上 悠^{1,2}, 宮地克真¹, 浅井雛代¹, 森瀬綾子¹, 広瀬 統¹,
山田貴亮^{1,3,4}, 長谷川靖司^{1,2,3}, 有馬 豪³, 岩田洋平³, 杉浦一充³, 赤松浩彦⁴
(¹日本メナード化粧品 総合研, ²名古屋大 メナード協同研究講座,
³藤田医科大医・皮膚科学, ⁴藤田医科大・医・応用細胞)

R30 果実由来細胞外小胞の表皮および毛乳頭細胞への取り込みと毛嚢選択的送達
○板倉祥子¹, 雨海沙矢香¹, 庄子綾香¹, 杉林堅次^{1,2}, 藤堂浩明¹
(¹城西大・薬・薬粧品, ²城西国際大)

R31 足場タンパク質のカルボニル化は EP 受容体を介して I 型コラーゲンの
線維形成不良を引き起こす
○山脇裕美子, 岡野由利, 正木 仁 (CIEL)

R32 マスク着用をしている顔への視線はどう変化するか。日本人女性の調査結果
○横山恵美理 (日本ロレアル)

R33 日本人女性を対象とした顔面皮膚の視覚的特徴を起床時から就寝時まで 1 か月間定量測定した
日内及び日間変動量追跡試験
○宮本久喜三 (P&G イノベーション)

R34 色の異なる皮膚に対する紫外線 (UVA) 反応性
○土田克彦, 先山奈津紀 (資生堂みらい開発研)

15:30~15:45 休憩 (15分)

15:45~16:35 一般研究演題 (VIII) 毛髪 4題 (発表8分, 質疑4分)
座長：辻野義雄 (神戸大)
芹澤哲志 (ライオン)

R35 頭皮冷却処置による育毛効果
○野口和真¹, 稲井孝典¹, 大谷敦子¹, 佃 義洋¹, 桑名隆一郎²
(¹富士産業, ²桑名皮フ科)

R36 頭皮マイクロバイオームと皮脂組成が男性型脱毛症に及ぼす影響
○鈴木一裕^{1,2}, 井上瑞菜², 高山幸大², 張 音実¹, 長濱 徹², 杉田 隆¹
(¹明薬大・薬, ²大正製薬)

R37 色素細胞における Mitochondrial Ubiquitin Ligase (MITOL) の機能評価及び
各種素材による白髪改善作用

○阿部晃也¹, 新井良平¹, 鈴木一裕¹, 高岡彰子¹, 長濱 徹¹, 竹岡篤史²
(¹大正製薬 セルフメディケーション開発研, ²ネイチャーラボ)

R38 加齢にともなうタンパク質のカルボニル化と毛髪内部の構造変性

○布施直也¹, 森田成昭², 松江由香子¹
(¹クラシエホームプロダクツ, ²大阪電気通信大・工)

16:35~18:15 新時代の香粧品学

座長：見坊行広（岩瀬コスファ）
瀬川憲人（セニラボラトリーズ）

1. 紫外線と皮膚メラニン制御の接点としての自然免疫機構
山崎研志（東北大）
2. 界面活性剤とサステナビリティ
坂井隆也（花王）
3. 化学構造情報とインビトロ試験を活用した化学物質の安全性予測・評価手法の開発
吉成浩一（静岡県立大）
4. においを知覚する
綾部早穂（筑波大）

18:15~ 閉会挨拶

次期会頭：鈴木民夫（山形大）
総合司会：前澤大介（癸巳化成）